

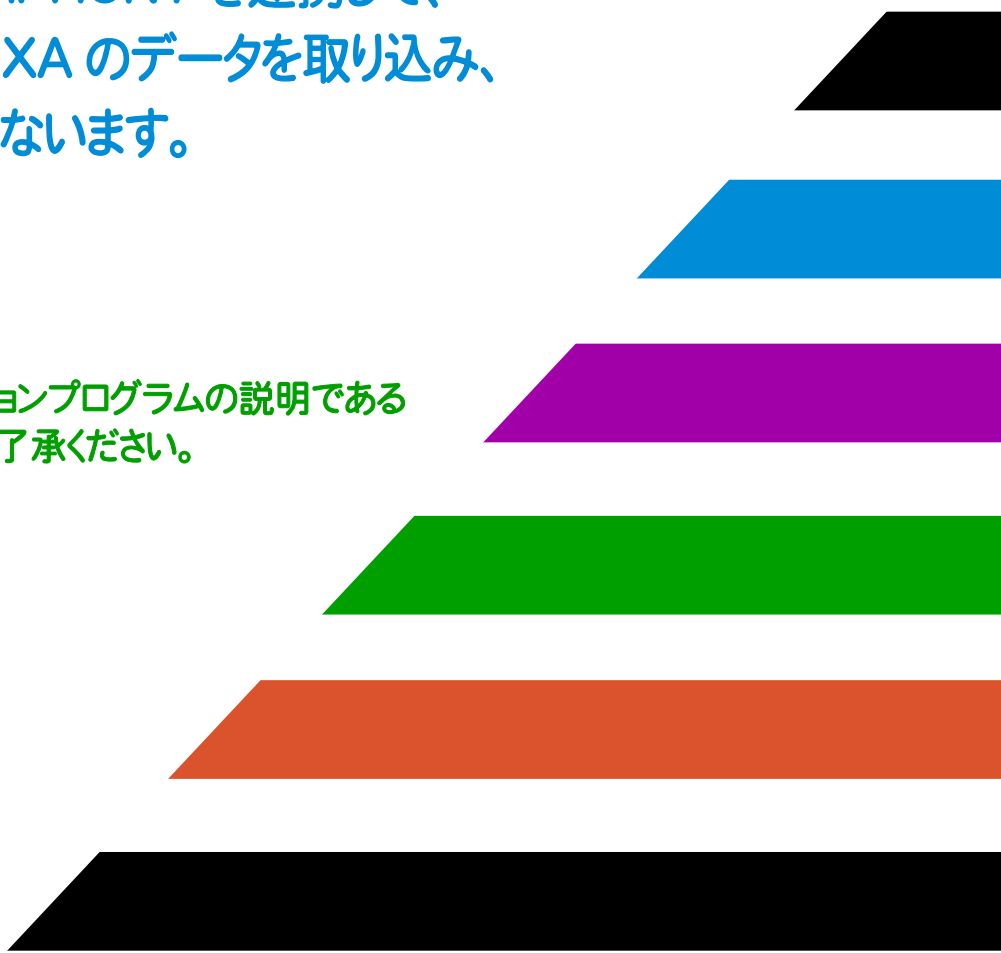


X-FIELD

境界点観測

X-FIELDとCIMPHONYを連携して、
BLUETREND XAのデータを取り込み、
現場作業をおこないます。

※解説内容がオプションプログラムの説明である
場合があります。ご了承ください。



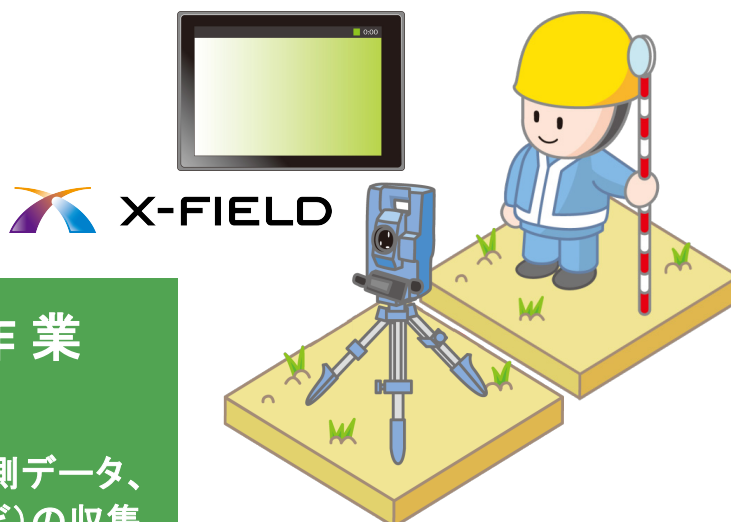
目次

境界点観測

1. 現場作業	1
1-1 X-FIELD と CIMPHONY を連携する	2
1-2 境界杭を設置する	4
1-3 境界杭を観測する	6
1-4 写真を撮影する	8
1-5 音声を録音する	9
1-6 メモ書きを入力する	10
1-7 他の境界杭設置・観測する	11
1-8 データを保存する	12
1-9 X-FIELD と CIMPHONY のデータを同期する	13

1 現場作業

X-FIELDとCIMPHONYを連携して、BLUETREND XAのデータを取り込み、現場作業を行います。



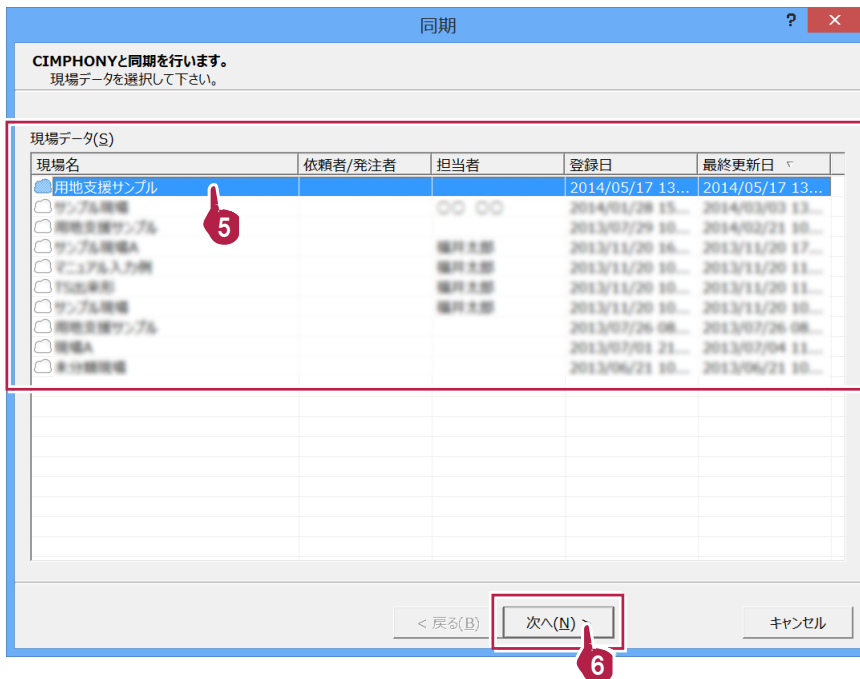
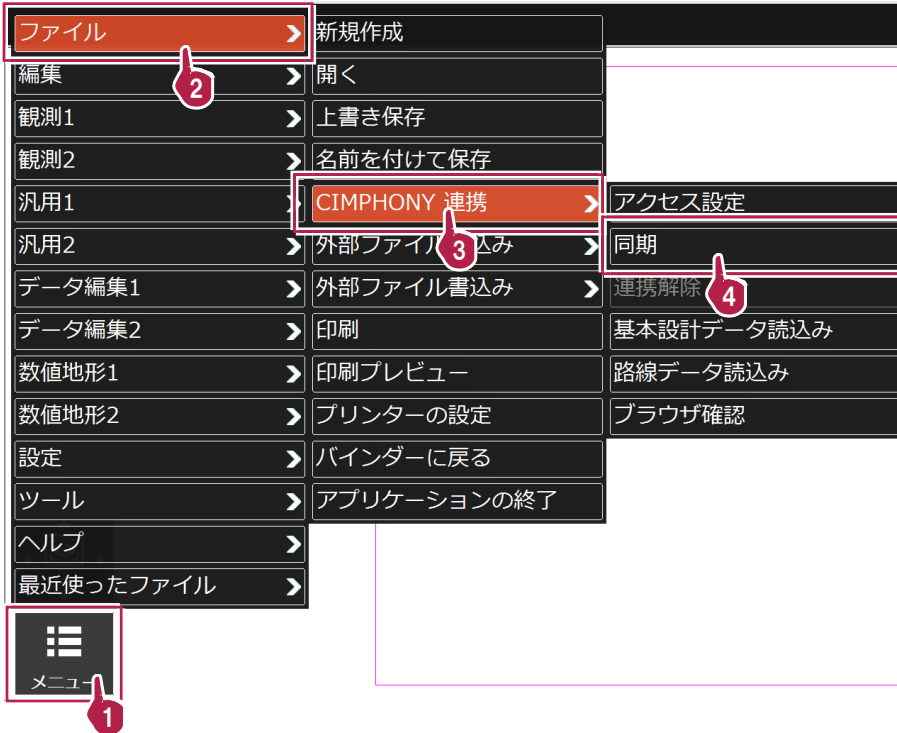
現場作業
境界杭設置
現場情報(観測データ、
写真、音声など)の収集

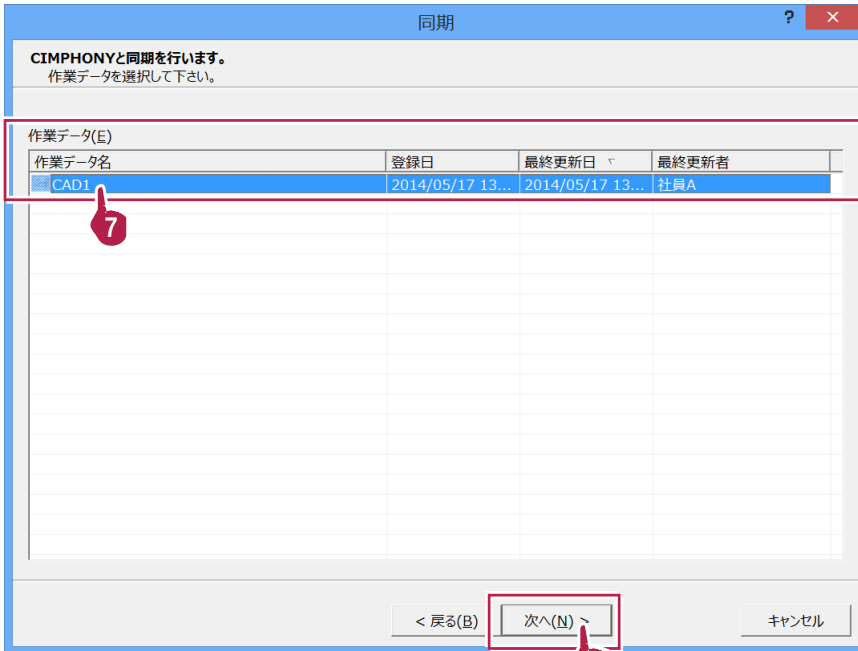
1-1 X-FIELD と CIMPHONY を連携する

X-FIELD と CIMPHONY を連携します。



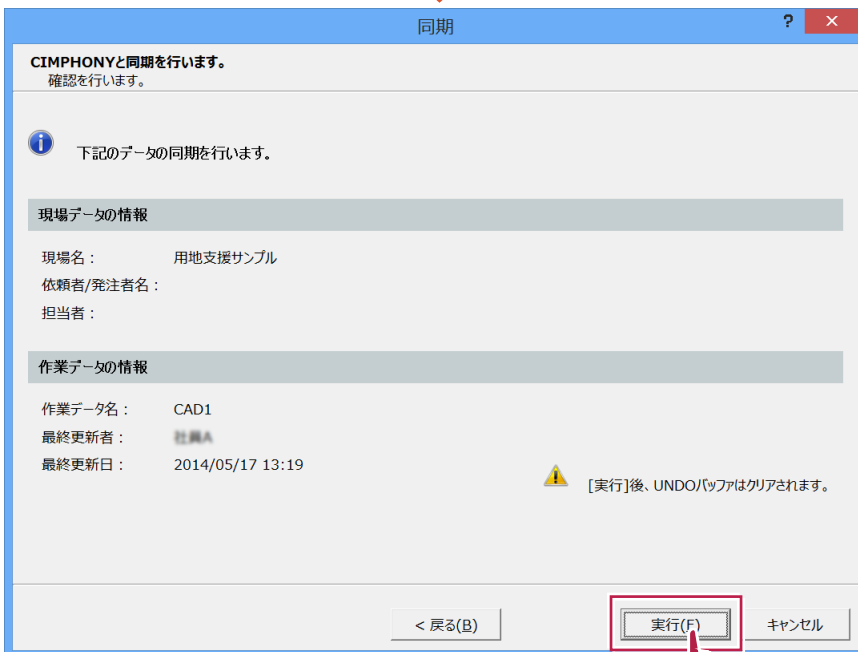
CIMPHONYを使用するときは、[メニュー]–[ファイル]–[CIMPHONY連携]–[アクセス設定]を行ってください。アクセス設定の詳細は、各種資料(測量土木)の「BTXA_X-FIELD連携」フォルダー内の「CIMPHONYでデータ連携.pdf」を参照してください。





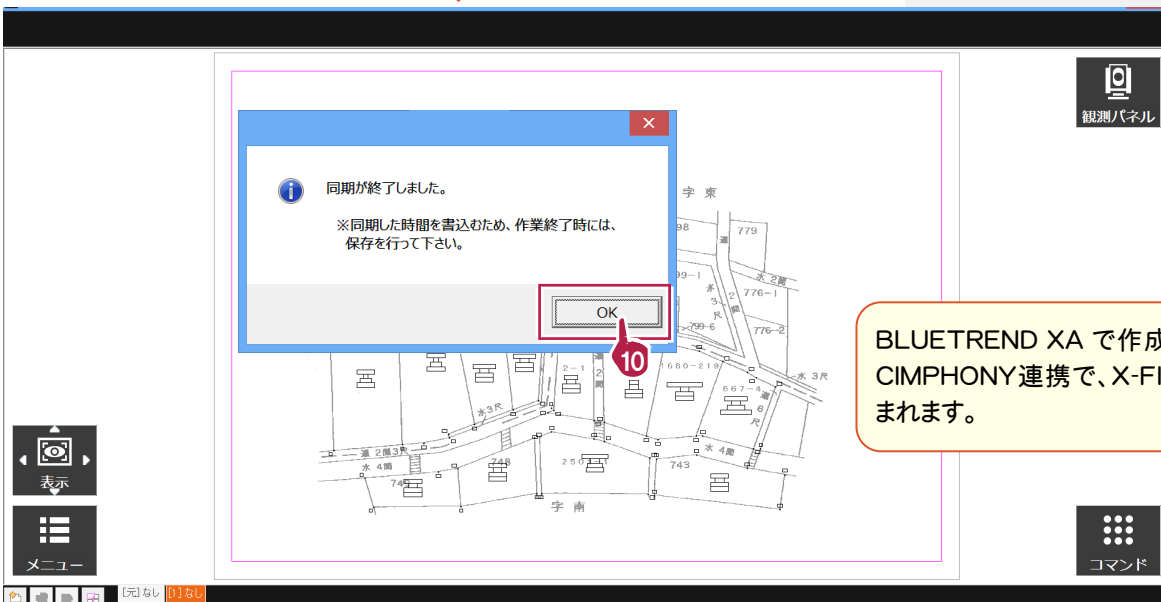
7 同期する作業データをタップします。

8 [次へ]をタップします。



9 同期する現場データの情報、作業データの情報を確認して、[実行]をタップします。

10 [OK]をタップします。



BLUETREND XA で作成したデータが CIMPHONY連携で、X-FIELDに取り込まれます。

1-2 境界杭を設置する

境界杭を設置します。

観測パネル

1

グループ選択

現況

対回

境界点

逆打ち

縦断

横断

出来形

G N S S

現況

開く

座標

観測条件設定

現況観測

上書き保存

名前を付けて保存

境界点観測
境界杭設置

用地支援

境界点観測

用地支援

上書き保存

名前を付けて保存

4

用地支援

用地測量の流れに沿って作業を行います。
※このコマンドでは、「転写連続図に用地情報配置」と「用地登録」を行います。

資料調査

・地番情報入力「地番管理」
・公図等転写連続図の作成[GAD]

転写連続図に用地情報配置(P)

現地調査

X-FIELD

境界杭設置(K)

境界点観測(S)

5

計算・登録

・観測データの取込み[電子野帳取込]
・座標計算及び登録[トラバース計算]

用地登録(R)

中止(A)

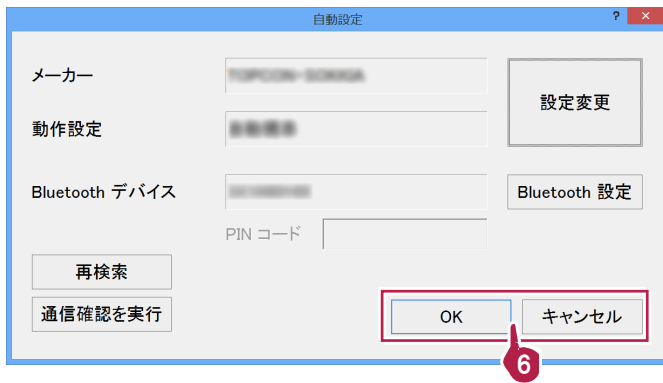
1 [観測パネル]をタップします。

2 [現況]をタップします。

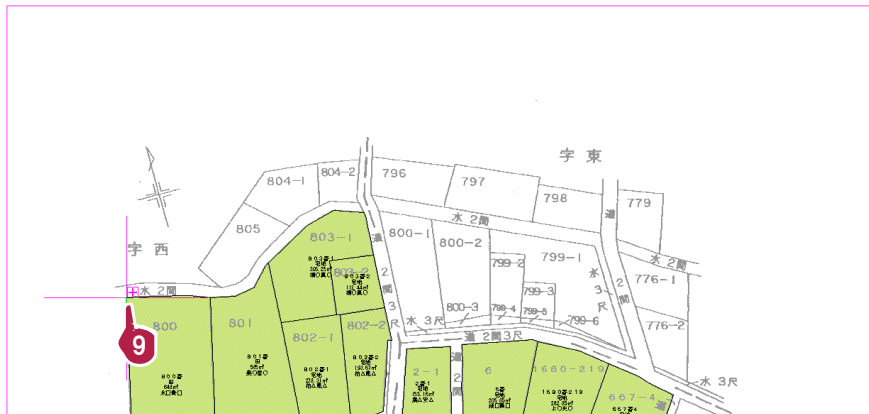
3 [境界点]をタップします。

4 [用地支援]をフリックして、
[用地支援]を選択します。

5 [境界杭設置]をタップします。



- 6 X-FIELDで一度もTS(トータルステーション)と接続していない場合は、Bluetooth接続でTSの検索がおこなわれます。自動接続された内容が正しければ、[OK]をタップします。後で接続する場合は、[キャンセル]で閉じます。



- 7 [境界杭]をタップします。
- 8 杭名を入力します。
- 9 境界杭の設置位置をタップします。

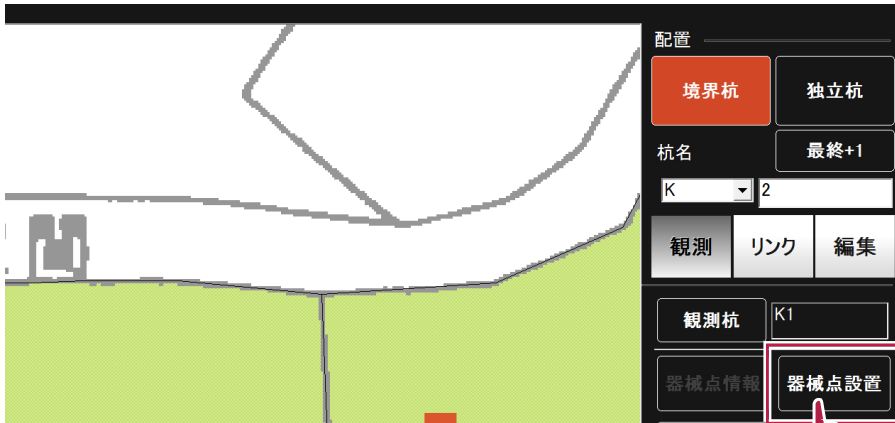


1-3 境界杭を観測する

設置した境界杭を観測します。

X-FieldにTSを接続して観測を行うと観測値は自動で取り込まれます。

本書では、TSとの接続条件を「デモ用」にして、観測値を手入力する方法で解説します。

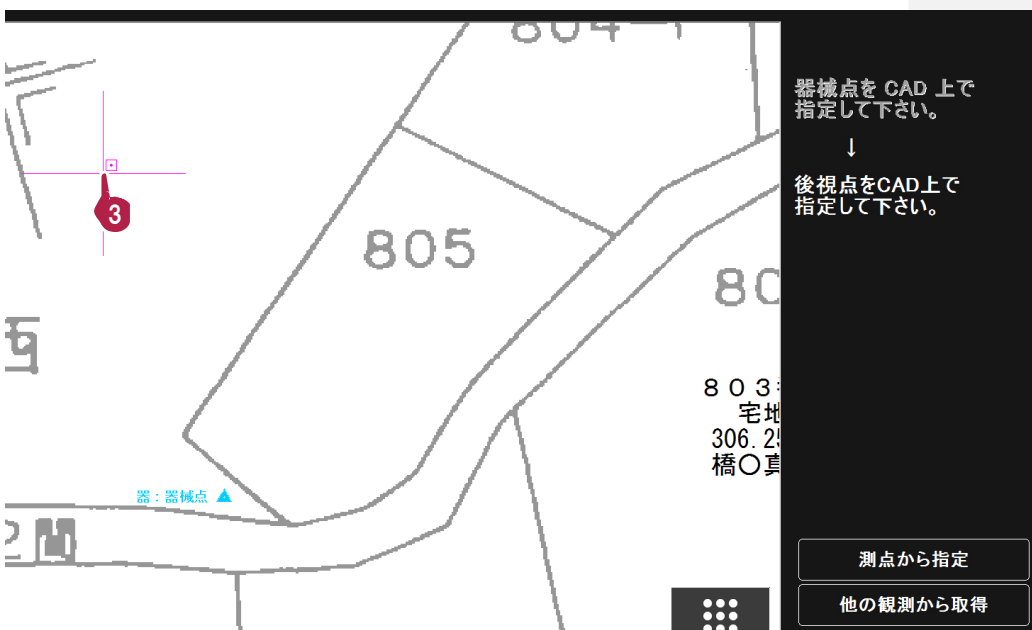


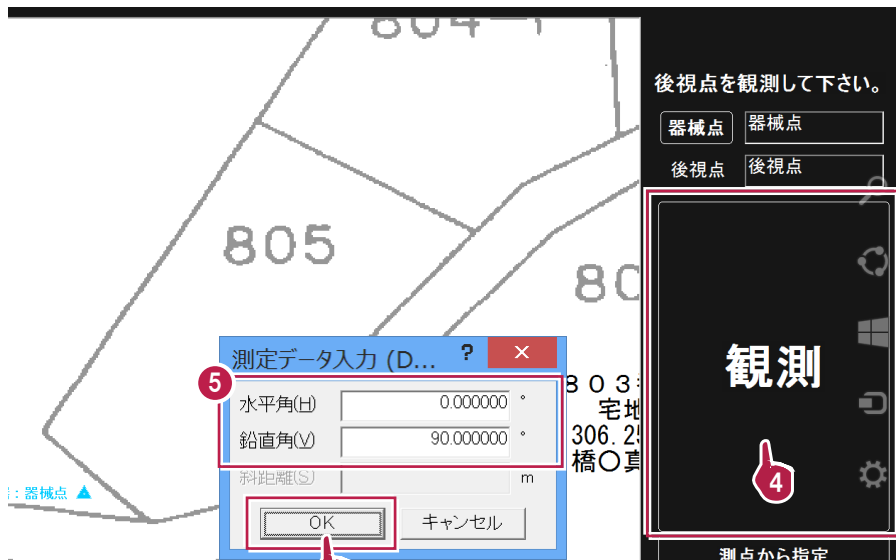
1 [器械点設置]をタップします。



2 器械点をタップします。

3 後視点をタップします。

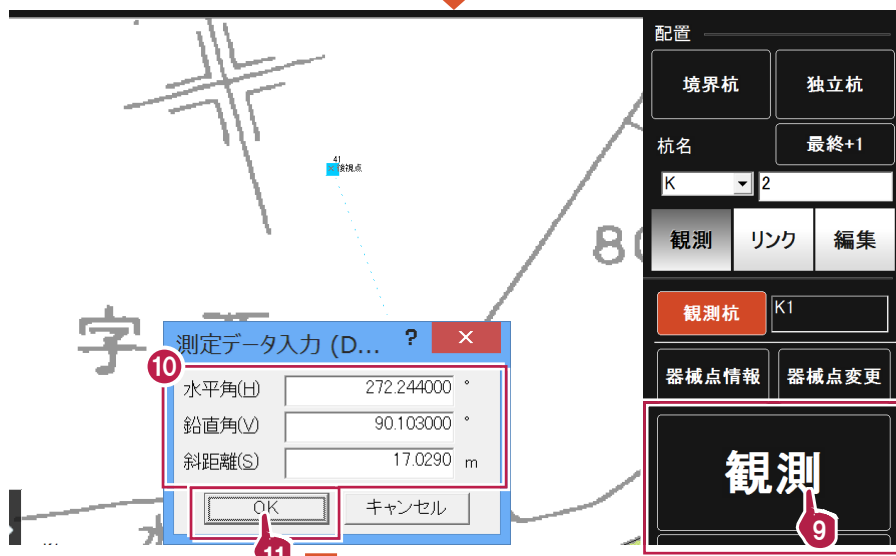




- 4 [観測]をタップします。
- 5 後視点の水平角、鉛直角を入力します。
- 6 [OK]をタップします。



- 7 [観測杭]をタップします。
- 8 観測する境界杭をタップします。



- 9 [観測]をタップします。
- 10 水平角、鉛直角、斜距離を入力します。
- 11 [OK]をタップします。

観測済みの杭には緑色のピンが表示されます。

1-4 写真を撮影する

写真を撮影します。(コンピュータにカメラ機能がある場合に有効です。)
本書では、設置・観測済みの杭「K4」の写真を撮影する操作を解説します。



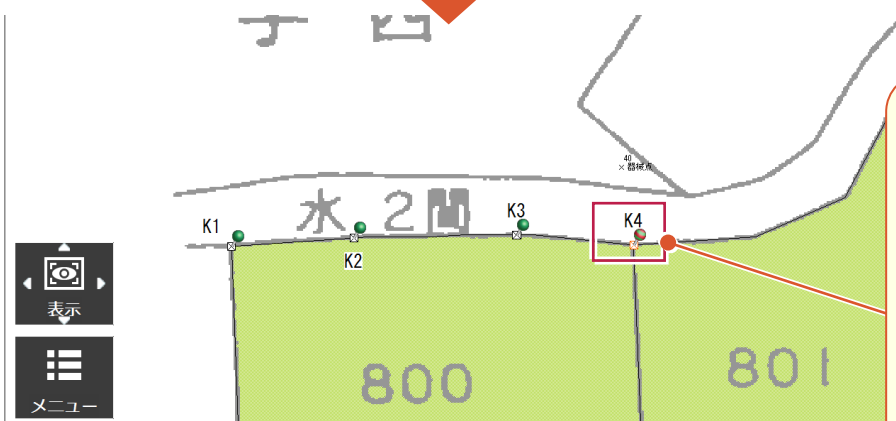
- 1 [リンク]をタップします。
- 2 [リンク対象]で「K4」を選択します。
- 3 [写真]をタップします。

4 カメラで写真を撮影して、登録します。

4 写真を撮影して、登録します。



- 5 写真を追加するエリアをタップします。
- 6 [選択]をタップします。

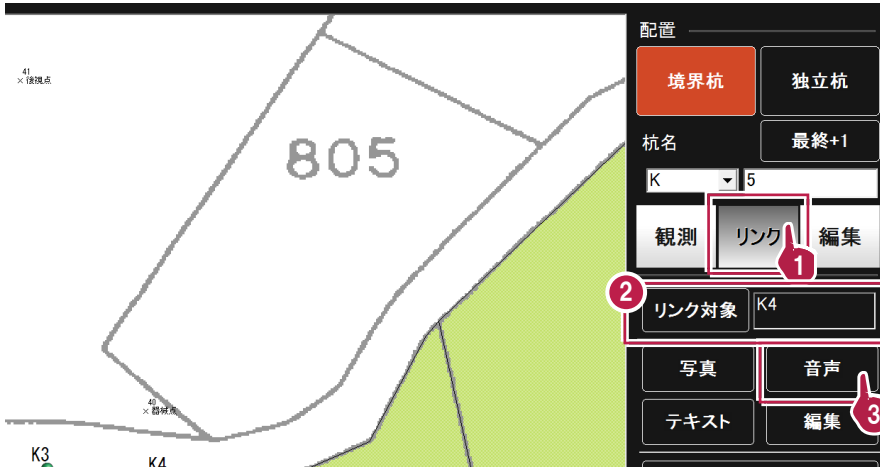


リンク情報が追加された杭のピンは赤色で表示されます。
観測済みの杭のピンは緑と赤で表示されます。

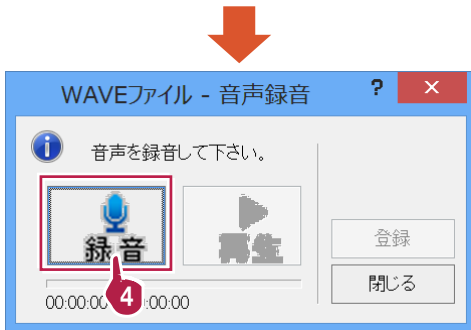


1-5 音声を録音する

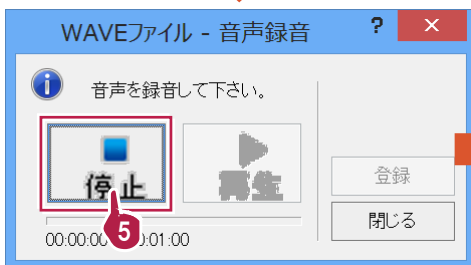
音声を録音します。(コンピュータに録音機能がある場合に有効です。)
本書では、設置・観測済みの杭「K4」に音声を録音する操作を解説します。



- 1 [リンク]をタップします。
- 2 [リンク対象]で「K4」を選択します。
- 3 [音声]をタップします。



- 4 [録音]をタップします。



- 5 [停止]をタップします。
- 6 [登録]をタップします。

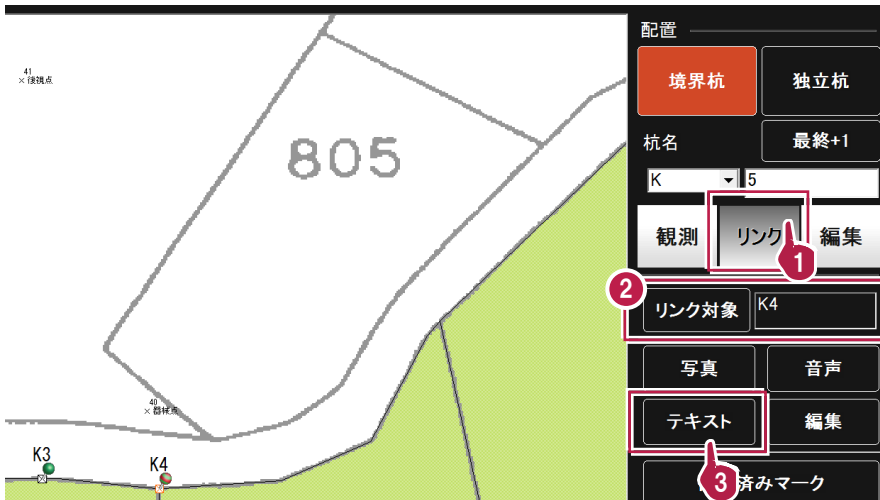


- 7 音声を追加するエリアをタップします。
- 8 [選択]をタップします。

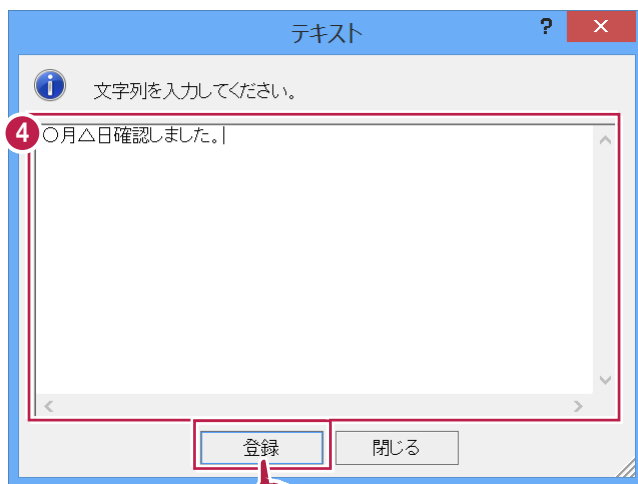
1-6 メモ書きを入力する

メモ書きを入力します。

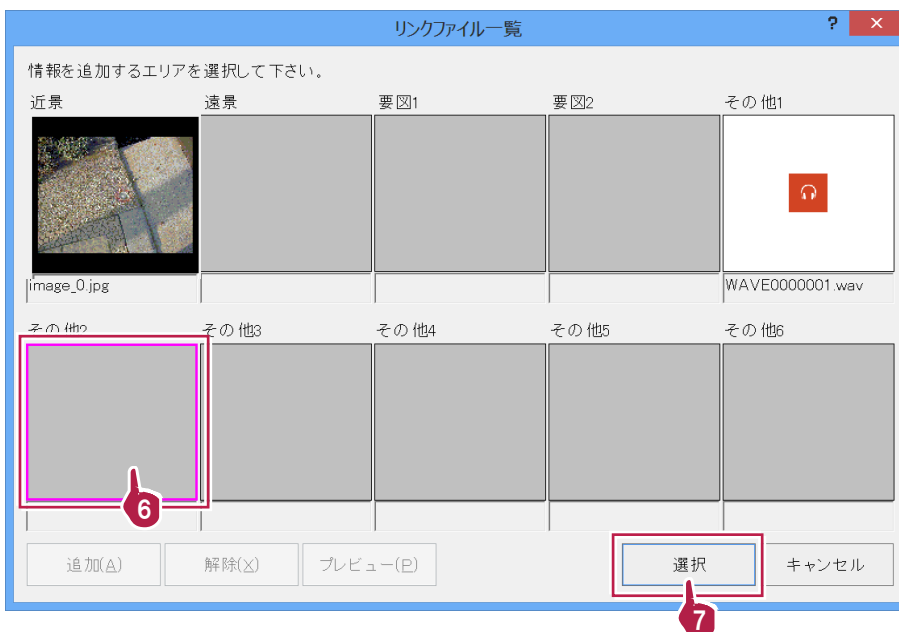
本書では、設置・観測済みの杭「K4」にメモ書きを入力する操作を解説します。



- 1 [リンク]をタップします。
- 2 [リンク対象]で「K4」を選択します。
- 3 [テキスト]をタップします。



- 4 メモ書きを入力します。
- 5 [登録]をタップします。



- 6 メモ書きを登録するエリアをタップします。
- 7 [選択]をタップします。

1-7 他の境界杭設置・観測する

同様に、他の境界杭を設置して、観測します。

配置

境界杭 独立杭

杭名 最終+1

K 68

観測 リンク 編集

観測杭 杭未選択

器械点情報 器械点変更

観測

測点登録

杭設定 **終了**

☑OK ☒中止



用地支援

以下のコマンドで、BLUETREND XAへ出力して下さい。

資料調査

- 地番情報入力「地番管理」
- 公図等転写連続図の作成[CAD]

転写連続図に用地情報配置(B)

※用地情報: 地番結線および地目、所有者等の地番情報

現地調査

X-FIELD

- 境界杭設置(K)
- 境界点観測(S)

計算・登録

- 観測データの取込み[電子野帳取込]
- 座標計算及び登録[トラバース計算]

用地登録(B)

終了(A)

【BLUETREND XAデータ出力】

- データ保存
- CIMPHONY連携-[同期]

1 同様に、他の境界杭を設置して、観測します。

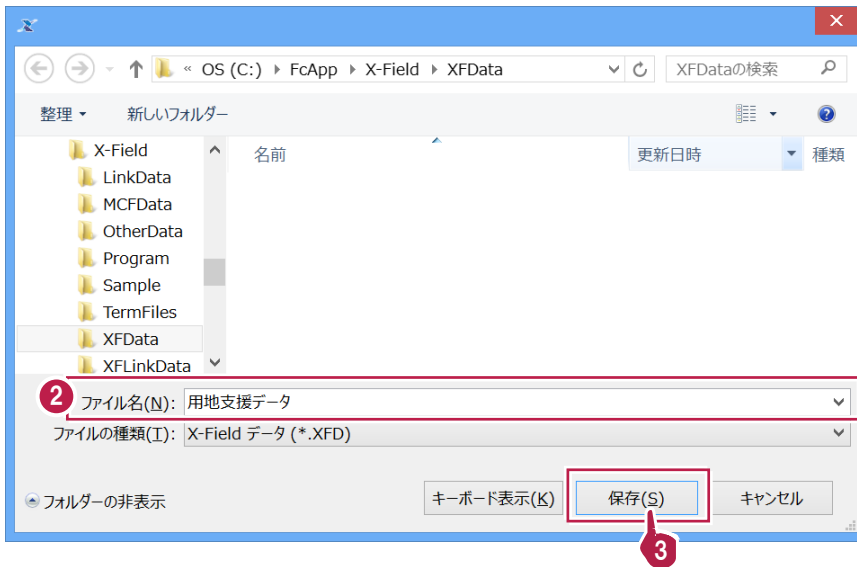
2 作業を完了したら、[終了]をタップします。

メモ [独立杭]とは地番を構成しない杭で任意の位置に設置可能です。隣接する道路の一部など境界以外に測定したい点がある場合は、[独立杭]を使用してください。

3 次の手順を確認して、[終了]をタップします。

1-8 データを保存する

データを保存します。



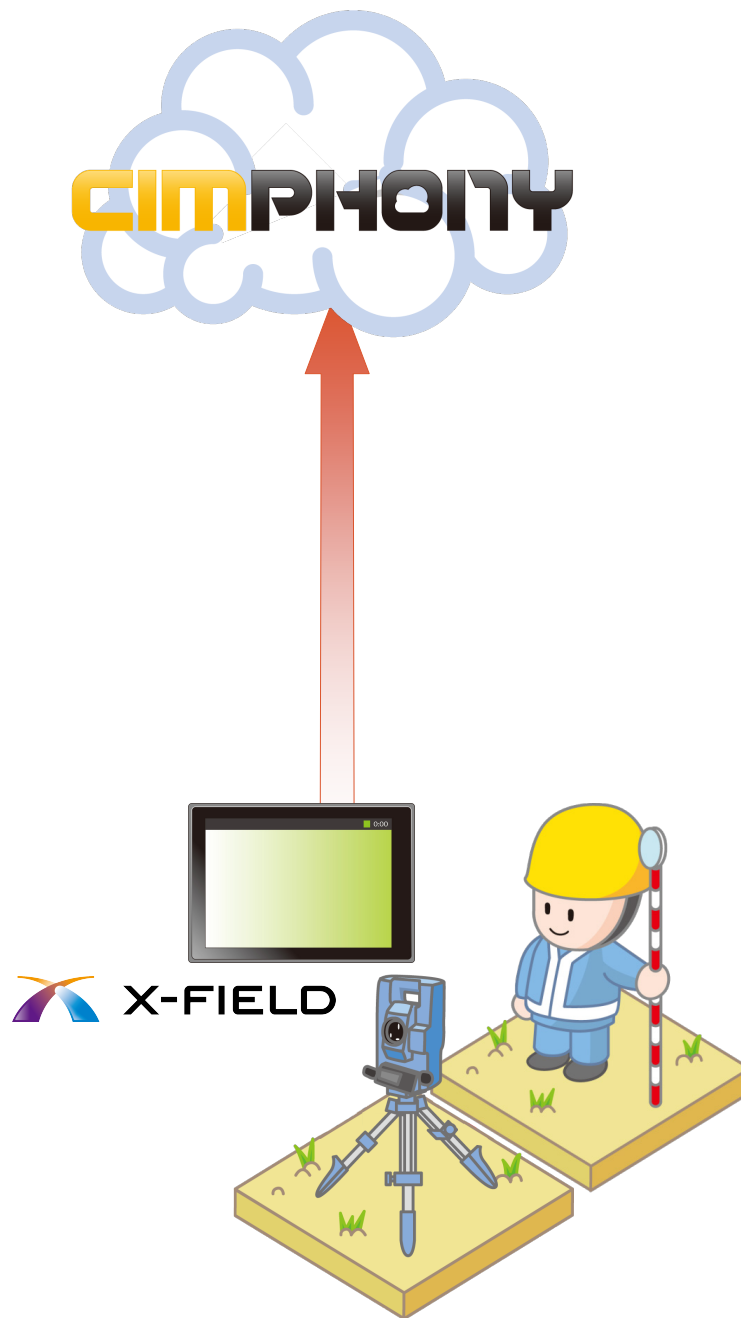
1 [名前を付けて保存]をタップします。

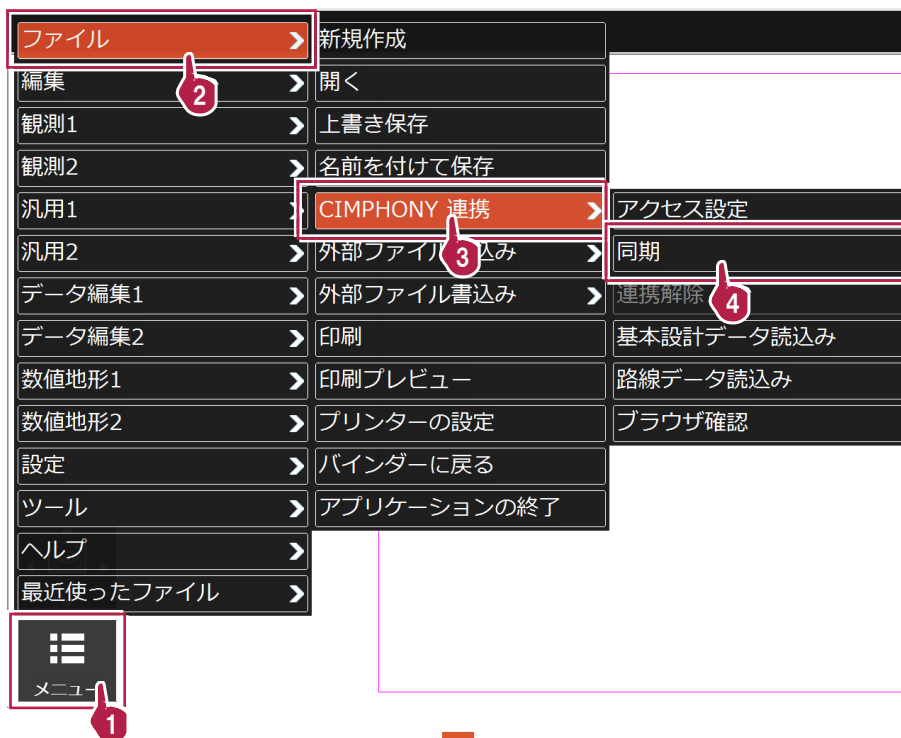
2 ファイル名を入力します。

3 [保存]をタップします。

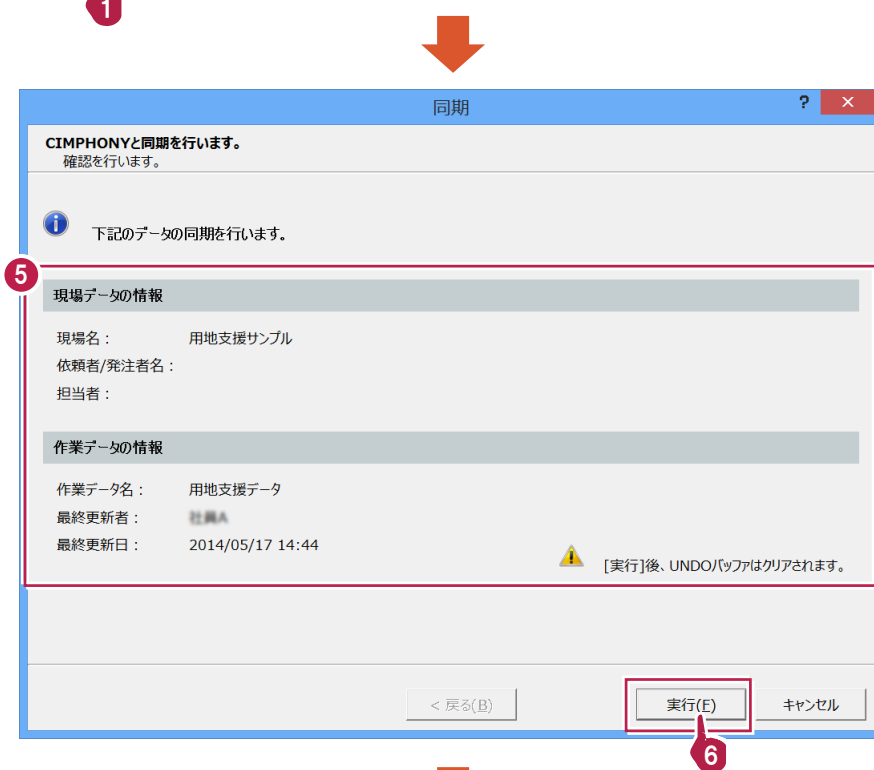
1-9 X-FIELD と CIMPHONY のデータを同期する

X-FIELD と CIMPHONY のデータを同期します。

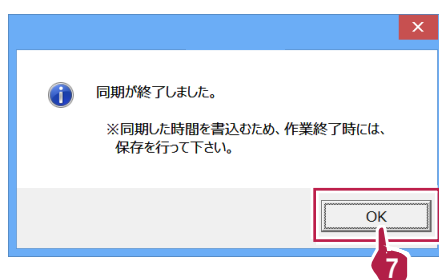




- 1 [メニュー]をタップします。
- 2 [ファイル]をタップします。
- 3 [CIMPHONY 連携]をタップします。
- 4 [同期]をタップします。



- 5 同期を行う現場データの情報、作業データの情報を確認します。
- 6 [実行]をタップします。



- 7 [OK]をタップします。